

平成 28 年度メディア芸術連携促進事業 連携共同事業

「第 5 回マンガ翻訳コンテスト」実施報告書

デジタルコミック協議会

平成 29 年 2 月

目次

| | |
|------------------------------|----|
| 第1章 事業概要 | 4 |
| 1.1 第5回マンガ翻訳コンテストについて | 4 |
| 第2章 事業の目的、趣旨 | 5 |
| 2.1 マンガ翻訳コンテストの目的、趣旨 | 5 |
| 2.2 過去実績 | 5 |
| 第3章 実施体制 | 7 |
| 3.1 実施体制図 | 7 |
| 3.2 審査員紹介 | 8 |
| 3.3 シンポジウム登壇者紹介 | 10 |
| 第4章 実施スケジュール | 11 |
| 4.1 マンガ翻訳コンテスト実施プロセス及びスケジュール | 11 |
| 第5章 実施内容 | 13 |
| 5.1 応募状況 | 13 |
| 5.2 課題作品 | 14 |
| 5.3 授賞式、シンポジウム概要 | 15 |
| 5.4 授賞式について | 16 |
| 5.5 シンポジウムについて | 16 |
| 第6章 広報、広報制作物 | 20 |
| 6.1 公式サイトの紹介 | 20 |
| 6.2 プレスリリース | 21 |

| | | |
|-----|-------------|----|
| 6.3 | チラシ | 23 |
| 6.4 | 広報 | 26 |
| 第7章 | 成果 | 27 |
| 7.1 | まとめ | 27 |
| 7.2 | アンケート集計 | 27 |
| 7.3 | 主なアンケートコメント | 28 |
| 7.4 | 総括 | 29 |

第1章 事業概要

1.1 第5回マンガ翻訳コンテストについて

デジタルコミック協議会主催の元、全体運営を海外のマンガ・アニメファンとともに作る、ファンのためのコミュニティ MyAnimeList (DeNA 米国子会社運営) と、日本のマンガの魅力を国内外に向けてプロモーションする「MANGAPOLO」プロジェクトを展開する株式会社 電通が共同で実施。

出版社をまたいで課題作品を3作選出し、それぞれ指定ページの翻訳を、プロのマンガ翻訳者を目指す学生や社会人を対象に募集し、プロのマンガ翻訳者として活躍する審査員による厳正なる審査で受賞者を決定、表彰した。

また、より多くの若き翻訳者を育てようと学生の応募の中で最も優秀な作品を決める学生賞も創設した。

同コンテストに関する情報を MyAnimeList の中でコンテストに関するスレッドを立てたほか、MyAnimeList の SNS など国内外に広く情報発信したほか、マンガ翻訳の重要性を啓蒙（けいもう）することを目的としたシンポジウムを授賞式と併催する形で、平成29年2月16日（木）に東京・秋葉原にて実施した。

第2章 事業の目的、趣旨

2.1 マンガ翻訳コンテストの目的、趣旨

日本マンガを翻訳する優秀な翻訳者の発掘と海外における日本マンガの正規版流通促進を目的として、デジタルコミック協議会の主導により実施してきた。

5回目となる今回も、コンテストに関する情報を MyAnimeList の中にコンテストについてのスレッドを立てたほか、MyAnimeList の SNS で国内外に広く情報発信した。また、マンガ翻訳の重要性を啓発することを目的としたシンポジウムを授賞式と併催する形で実施した。

より多くの若き翻訳者を育てようと学生の応募の中で最も優秀な作品を決める学生賞も創設した。

2.2 過去実績

第1回 大賞 チョコレートコスモス (春田なな) Shana Shimizu 氏
翻訳完了し、VIZ-select より配信中。(1巻～続巻、順次配信中)

<http://www.viz.com/manga/digital/viz-select> (日本国内から購読不可)

第1回 作品優秀賞 神童 (さそうあきら) pinkie-chan 氏
Crunchyroll Manga にて配信中

<http://www.crunchyroll.com/comics/manga/shindo/volumes> (日本国内から購読不可)

第1回 作品優秀賞 COPPELION (井上智徳) Amanda Haley 氏
Crunchyroll Manga にて配信中

<http://www.crunchyroll.com/comics/manga/shindo/volumes> (日本国内から購読不可)

同じく Crunchyroll Manga で配信中の「GTO パラダイス・ロスト」の翻訳も手掛けている。

第2回 大賞 恋とは呼べない (町屋はとこ 榎田 尤利) Sarah Kim Perry 氏
配信準備中

第3回 作品優秀賞 いばらの冠 (神尾葉子) Casey Loe 氏
VIZ-select より配信中。(1巻～続巻、順次配信中)

<http://www.viz.com/manga/digital/viz-select> (日本国内から購読不可)

第3回 作品賞受賞 日常 (あらゐ けいいち) Jenny Mackeon 氏
翻訳版販売中

第3回 作品賞受賞 ミュージアム (巴亮介) Hayley Tournier 氏
配信準備中

第4回 大賞 いまどきのこども (玖保キリコ) Monique Murphy 氏
<http://www.viz.com/read/manga/digital/children-nowadays-volume-1/4638>

また、以下の URL から、過去の受賞者へのインタビューを視聴できる。

<http://goo.gl/crPXsJ> (Shana Shimizu 氏)

<http://goo.gl/RvWXFd> (Sarah Kim Perry 氏)

<https://www.youtube.com/watch?v=-bqEtMRRUXs> (Jenny McKeon 氏)

マンガ翻訳の重要性を啓発すること、そして日本のマンガを世界へ広く普及することを目的とした「マンガ翻訳コンテスト」は今年度で5回目。

多くのコンテスト受賞者をマンガ翻訳家として、デビューさせ、育成してきた。

第3章 実施体制

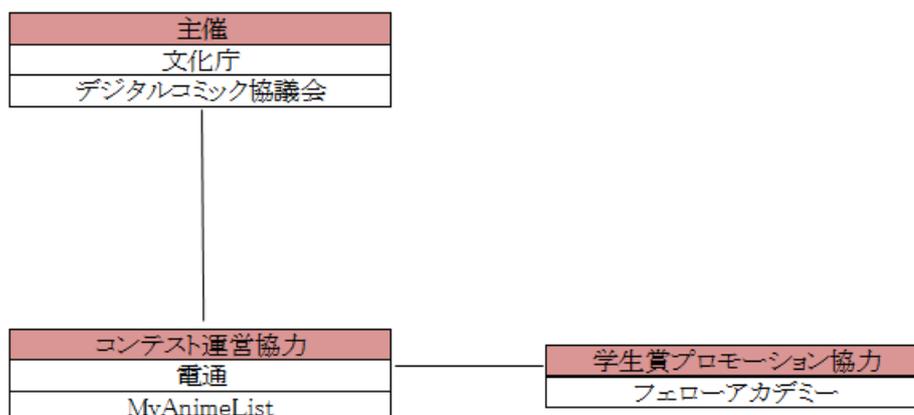
3.1 実施体制図

主催：文化庁、デジタルコミック協議会

※本コンテストは、平成28年度文化庁メディア芸術連携促進事業における連携共同事業として採択された。

コンテスト運営協力：株式会社 電通 / MyAnimeList (DeNA 米国子会社運営)

【MTB Vol.5】組織図



3.2 審査員紹介

Debora Aoki

(MangaComicsManga.com 編集者)

漫画ライター。

日本のアニメや文化を世界に紹介するウェブサイト「アニメニュースネットワーク」など様々なメディアで、日本のマンガに関する記事を執筆している。



Matt Alt

(翻訳家)

漫画翻訳家。

『ドラえもん』『ドロヘドロ』『ぬらりひよんの孫』などの作品を翻訳している。

William Flanagan
(マンガ翻訳家)

マンガ編集翻訳家。
『ポケモン』や『セーラームーン』『Fairy Tail』などの作品を翻訳している。



木村智子
(マンガ翻訳家/翻訳学校講師)

『神様はじめました』『黒執事』などの作品を翻訳。
フェロー・アカデミーでマンガ英訳講座の講師も務めている。

3.3 シンポジウム登壇者紹介

■モデレーター

島野 浩二 しまの こうじ（株式会社双葉社 取締役）

1985年双葉社に入社。「Weekly 漫画アクション」編集部・「コミックアクションキャラクター」編集部を経て、1989年に「Weekly 漫画アクション」編集長。その後、企画編集部に移り、ゲーム雑誌やゲーム攻略本の編集長を務める。第3編集部部長・局次長を経て、2015年より取締役編集局長。現在はコミック・書籍編集を担当。

■パネラー

茨木 政彦 いばらき まさひこ（株式会社集英社 取締役）

1982年集英社に入社。「週刊少年ジャンプ編集部」に配属、マンガ編集者として数々の作家・作品を手掛ける。「週刊少年ジャンプ」編集長を経て、「ジャンプスクエア」の創刊編集長を務める。第3編集部部長、ライツ事業部部長などを歴任。2013年8月、取締役就任。現在は、ライツ事業部、デジタル事業部、新書編集部、学芸編集部を統括している。

古川 公平 ふるかわ こうへい（株式会社講談社 取締役）

1980年講談社に入社。週刊少年マガジン編集部を皮切りに漫画編集者として数々の作品を手掛ける。2002年から2004年まで「月刊アフタヌーン」、2004年から2010年まで「週刊モーニング」の編集長を務める。編集長在任時に連載スタートした作品には『宇宙兄弟』（小山宙哉著）、『聖☆おにいさん』（中村光著）等がある。2011年取締役就任。現在は国内ライツ事業、広告事業、国際事業を統括している。

溝口 敦 みぞぐち あつし（株式会社メディアドゥ 取締役）

1974年7月生まれ 滋賀県出身。株式会社メディアドゥ 取締役 事業開発本部長。2000年からドコモにてi-mode等のモバイルにおけるコンテンツ開拓及びサービス開発を行う。2008年にメディアドゥへ参画し、電子書籍配信を中心としたコンテンツ流通に携わる。また、近年では、海外におけるコンテンツ流通のプラットフォーム形成にも着手している。

第4章 実施スケジュール

4.1 マンガ翻訳コンテスト実施プロセス及びスケジュール

■コンテスト実施プロセスと成果

平成28年5月～8月

コンテストの詳細検討

課題3作品と審査員の選定を行い、今後のコンテスト実施スケジュールを決定。

平成28年8月29日

第5回マンガ翻訳コンテストHPをプレオープンし、早めに開催を告知するため、対象作品の告知を行い、事前登録を募った。

平成28年9月14日～11月4日

対象作品への応募を開始した。事前登録者に向けてメールマガジンを配信するなどし、最終的に263件（有効254件）もの応募があり、過去最大の応募数となった。

コンテストの告知

・MyAnimeListのトップページにバナーを貼るなどHPへ導線を貼ったほか、FacebookやtwitterなどのSNSや、MyAnimeList内でコンテストのスレッドを立てて告知した。

・アニメ関係の海外関係者へも告知した。

・アメリカで開催されたNew York Comic Con *1にてチラシを配布し、コンテストへの応募を呼びかけた。（御協力：VIZ Media、Kodansha USA Publishing）

*1 アメリカ東海岸で最大規模を誇るポップカルチャー・イベント。アニメ、ゲーム、コミック、映像など、展示ジャンルは多方面にわたり、各界から多くの著名人も訪れている。

・翻訳学校のフェロー・アカデミーのマンガ翻訳講座にてチラシを配布したほか、登録数1万7000人に対しメールマガジンを複数回送信した。

平成28年10月

審査員による記事執筆

HPにリンクする形で審査員による翻訳のコツや翻訳者としてのキャリア形成などの記事を執筆し、随時MyAnimeListのHP内にて更新した。

平成28年11月5日～12月13日

応募作品のスクリーニング

応募作品の第一次審査及び審査員による選考を行い、最終作品候補を選考した。

平成 29 年 1 月 18 日

作品優秀賞・大賞、学生賞の発表

審査員 4 名による協議の上、課題作品ごとに「作品優秀賞」を選出し、作品優秀賞 3 作品の中から「作品優秀賞・大賞」1 作品を決定した。

また、学生の応募の中で一番優秀な作品である学生賞も選出した。

平成 29 年 2 月 16 日（木）

授賞式・シンポジウムを開催。

平成 29 年 2 月 24 日（金）

審査員によるトライ&エラーを HP に公開予定

第5章 実施内容

5.1 応募状況

263件（有効254件）を超える応募となった。（うち学生100名）

各国の応募状況では、アメリカからの応募が最多。

応募地域は、昨年同様、特に北米の方々からが多かったが、エジプトやイスラエルなど過去にない地域からの応募も目立った。

| 国 | 総合計 | 学生 |
|-------------|-----|----|
| USA | 110 | 37 |
| 日本 | 24 | 5 |
| オーストラリア | 23 | 8 |
| カナダ | 11 | 2 |
| イギリス | 11 | 8 |
| ロシア | 9 | 4 |
| ドイツ | 8 | 7 |
| シンガポール | 8 | 4 |
| ブラジル | 4 | 1 |
| マレーシア | 4 | 2 |
| ニュージーランド | 4 | 4 |
| エジプト・アラブ共和国 | 3 | 1 |
| イスラエル | 3 | 0 |
| フィリピン | 3 | 1 |
| スウェーデン | 3 | 1 |
| ベルギー | 2 | 1 |
| ブルガリア | 2 | 1 |
| コロンビア | 2 | 0 |
| デンマーク | 2 | 1 |
| ギリシャ | 2 | 2 |
| インドネシア | 2 | 0 |
| イタリア | 2 | 1 |
| メキシコ | 2 | 0 |
| オランダ | 2 | 1 |
| チェコ | 1 | 1 |
| フランス | 1 | 0 |
| 香港 | 1 | 1 |
| ハンガリー | 1 | 0 |
| アイルランド | 1 | 0 |
| ラトビア | 1 | 1 |
| モーリシャス | 1 | 1 |
| ポーランド | 1 | 1 |
| ルーマニア | 1 | 1 |
| セルビア | 1 | 1 |
| サウジアラビア | 1 | 1 |
| エルサルバドル | 1 | 0 |
| トルコ | 1 | 0 |
| ウクライナ | 1 | 1 |

| 応募タイトル | 応募数 |
|------------------|-----|
| ずっと独身でいるつもり？ | 167 |
| 春はあけぼの 月もなう 空もなお | 38 |
| ジャンプの正しい作り方！ | 58 |

応募タイトルは「ずっと独身でいるつもり？」がかなりの割合を占めて最多となった。

「春はあけぼの 月もなう 空もなお」は枕草子の春はあけぼのも古文形式で入っており、他作品より翻訳の難易度が高かったと思われる。

各国の応募者からの作品を一時スクリーニングにかけ、9作品の最終候補を選出。

対象の9作品を、翻訳コンテスト審査員4名により最終審査。3名の受賞者を決定した。

(学生で最も優秀だった学生賞も、作品賞受賞者と同一人物)

5.2 課題作品

① 『春はあけぼの 月もなう 空もなお』(作:サメマチオ/宙出版)

② 『ずっと独身でいるつもり?』(作:おかざき真里/祥伝社)

③ 『ジャンプの正しい作り方!』(作:サクライタケシ/集英社)

以上、合計3作品を対象作品とした。

■応募総数・・・263件(うち有効254件/学生100件)

■審査結果

・作品賞(3作品)

『春はあけぼの 月もなう 空もなお』

Eleanor Summers 氏

『ずっと独身でいるつもり?』

Emma Schumacker 氏

『ジャンプの正しい作り方!』

Emily Taylor 氏

・大賞(1 作品)

『春はあけぼの 月もなう 空もなお』

Eleanor Summers 氏

・学生賞

『ずっと独身でいるつもり?』

Emma Schumacker 氏

5.3 授賞式、シンポジウム概要

■授賞式&シンポジウム

・開催日時：2017年2月16日（木）

授賞式：18:00～18:53

シンポジウム：19:00～20:30

・会場：秋葉原 UDX ビル・シアター会場

■授賞式登壇者

・司会：新井里美（声優/ナレーター）

・開会の挨拶：デジタルコミック協議会 峰岸理事長

・審査員4名

・プレゼンター：「春はあけぼの 月もなう 空もなお」作者サメマチオ先生

・閉会の挨拶：文化庁 文化部 芸術文化課 木村直樹課長

■シンポジウム登壇者

・モデレーター：島野 浩二（双葉社取締役）

・登壇者：茨木 政彦（集英社取締役）

古川 公平（講談社取締役）

溝口 敦（メディアドゥ取締役）

5.4 授賞式について

■授賞式(18:00～18:53)

①開会の挨拶

デジタルコミック協議会・峰岸理事長の挨拶を頂き開始。

②対象作品の紹介

対象作品 3 作品を、司会者より動画を交えて紹介

③受賞者の発表

各作品の優秀賞 2 作品と学生賞の発表後、大賞受賞者の発表。各作品の作者からの祝福のコメントも発表。(作家 2 名は来場し、1 名についてはムービーで紹介)

④授賞式

大賞受賞者には、ステージにて峰岸理事長より賞状と、対象作品の作家サメマチオ先生より目録(翻訳支援ソフト)が贈呈された
今回は、大賞受賞者がイギリスより来日した。

⑤審査員からの講評

審査員からのトライ&エラーとして、目立った翻訳の落とし穴やアドバイスなどを
パワーポイントを使用して発表した

⑥閉会の挨拶

文化庁 文化部 芸術文化課 木村直樹課長からの閉会の挨拶で授賞式を終了。

5.5 シンポジウムについて

■シンポジウム(19:00～20:30)

①モデレーターとパネラーの紹介

授賞式の司会者からモデレーターへ引き継ぎ 3 名のパネラーを紹介。

②プレゼンテーション

3 名のパネラーが、各 5 分～10 分ずつデータを交えてプレゼンテーションした。

講演では、海外でもっとマンガが読まれるようになるために、各社が行っている取り組みを紹介した。

③プレゼンテーションを踏まえ、今後海外でマンガが読まれるためにはどのような展開が必要なのか、など 白熱した議論が飛び交った。

③シンポジウムのまとめと質疑応答

モデレーターの主導で、シンポジウムの総括と質疑応答を行った。

・概要

「マンガの未来～海外でもっと“マンガ”を読んでもらうために～」をテーマとし、出版社側から講談社と集英社が、配信事業者側からメディアドゥが、日本のマンガを海外に発信していく上での現状での取り組み状況を説明、海外配信の今後の可能性について議論がなされた。現状でも海外翻訳版は、一定数の作品は紙の流通・販売が行われており、その多くが電子書籍配信され、デジタル雑誌やサイマル配信（日本での出版と同時の配信）も一部行われている。だが、日本での出版点数に比べると海外翻訳版が正規で出版・配信されている作品はまだわずかであるといえ、英語や中国語の海賊版配信も依然多い。現地では「本物」に対する需要があることから、いかに正規の流通経路を開拓していくか、が課題である。今後は、引き続き翻訳作品数や配信地域を増やしていくことが必要であると同時に、読者層の拡大も重要であり、日本のマンガ作品をどのようにプロモーションしていくのかについて、出版社、配信事業社を問わず検討していくことの必要性が語られた。

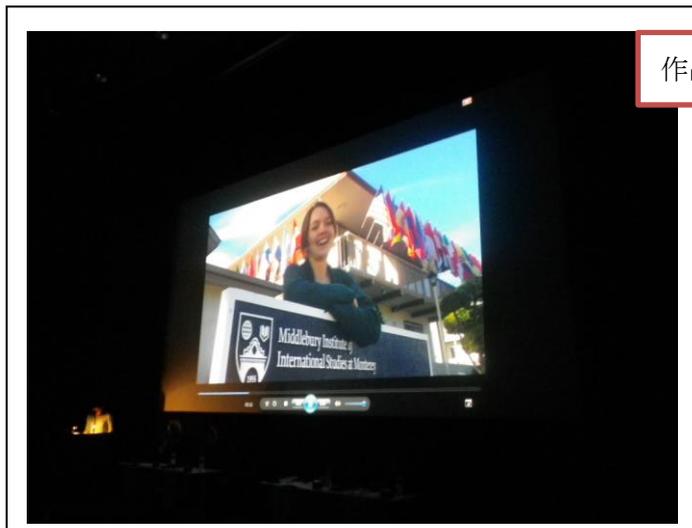
・授賞式



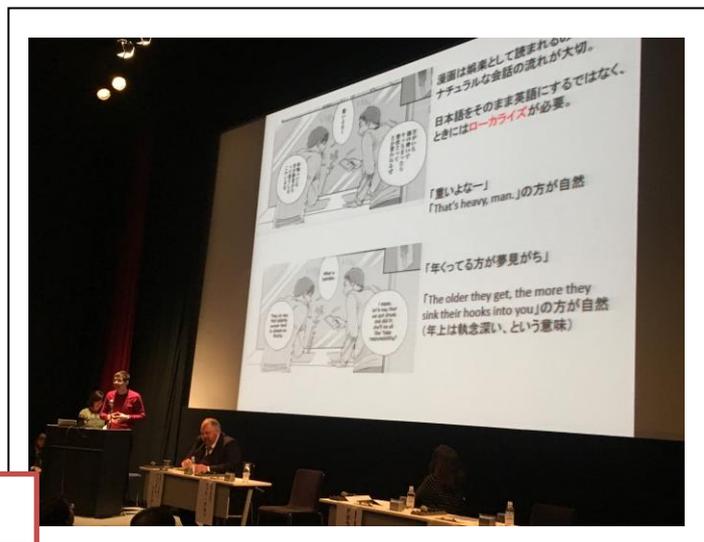
峰岸理事長より大賞受賞者
Eleanor Summers さんへ賞状の授与



審査員からのコメント

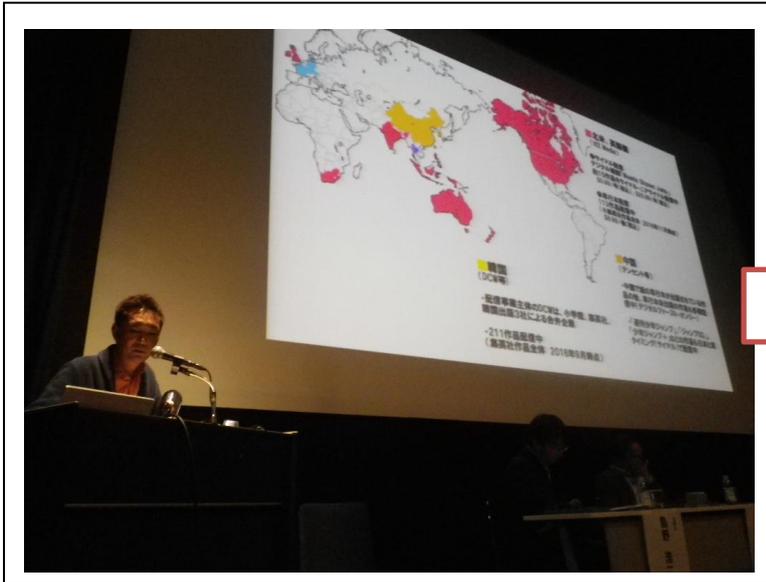


作品賞受賞者ビデオメッセージ



審査員からの翻訳講評

・シンポジウム



各社海外出版の現状プレゼンテーション

パネラーディスカッション

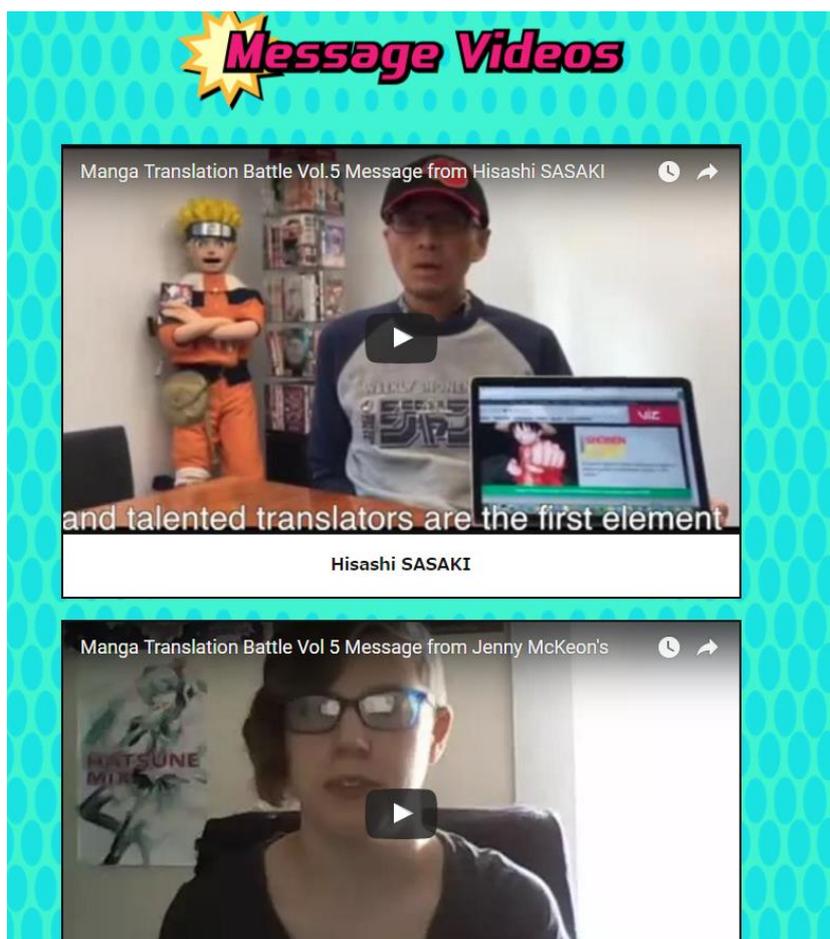


第6章 広報、広報制作物

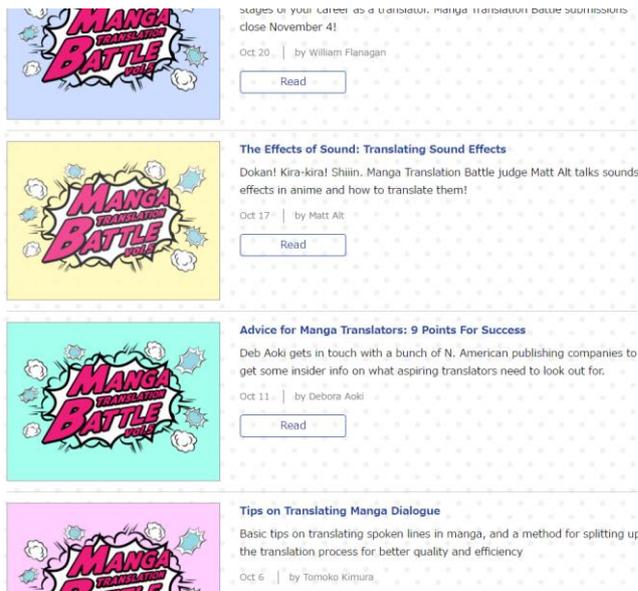
6.1 公式サイトで紹介

公式ウェブサイト

https://myanimelist.net/manga_translation_battle_vol5

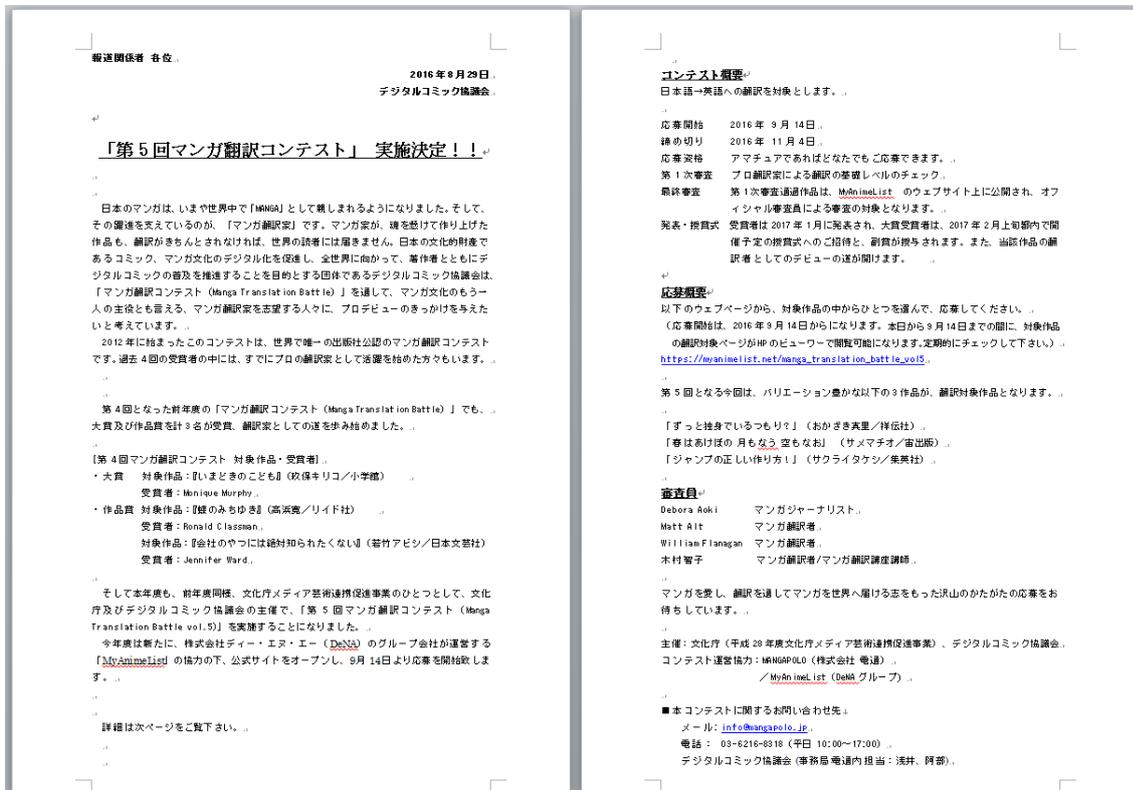


※今年度は、プロモーション施策として、公式WEBサイト上に、過去の受賞者や海外マンガ配信を行っている会社の関係者のメッセージ動画を掲載。



※翻訳のコツや翻訳者としてのキャリア形成など、審査員4人が記事を執筆した。

6.2 プレスリリース



関係者各位、

平成 29 年 2 月 3 日、
デジタルコミック協議会、
<http://www.digital-comic.jp/>、

第 5 回マンガ翻訳コンテスト授賞式・シンポジウム開催のご案内、
(※同じくお申し込み先電話番号変更のため再送)。

マンガ翻訳の優秀者をプロの翻訳家を抽めとするオフィシャル審査員による最終審査で決定するマンガ翻訳コンテスト、『Manga Translation Battle vol.5』。

マンガ翻訳家志望者の活躍の場を増やし、世界のより広い層に高い日本のマンガ文化を発信するプラットフォームとなることを目指して、今回で 5 回目の開催となります。今回の大賞受賞者を迎える授賞式と、出版関係者及び配信プラットフォーム関係者によるシンポジウムでは、各社の取り組みの事例を紹介しつつ、マンガがより広く海外で読まれるためにはどうすればよいか、家塚君の方々に話して頂きます。

ご多忙とは存じますが、ぜひともお聴きいただけますようお願い申し上げます。

「Manga Translation Battle vol.5」
翻訳コンテスト公式ページ：https://myanimelist.net/manga_translation_battle_vol5。
主催：文化庁、デジタルコミック協議会
コンテスト運営協力：MANGAPOLO（株式会社 電通）
／myanimelist（株式会社ディー・エヌ・エー）
※本コンテストは平成 28 年度文化庁メディア芸術連携促進事業における連携共同事業として採択されています。
メディア芸術関係の情報発信サイト（メディア芸術カレントコンテンツ）：<http://mediag.jp>。

＜翻訳コンテスト授賞式・シンポジウム＞
日時：2017 年 2 月 16 日（木）18：00～20：30（開場 17:30）
場所：秋葉原 UDX シアター。
イベント詳細及び参加事前申し込み。
https://myanimelist.net/manga_translation_battle_vol5。

■プログラム、

●翻訳コンテスト授賞式、
司会：新井重美（声優ナレーター）、
プレゼンター：
Debora Roki マンガジャーナリスト、
Matt Ait マンガ翻訳者/株式会社アルトジャパン、
William Flanagan マンガ翻訳者/編集者、
木村智子 マンガ翻訳者/フェロー・アカデミー講師、

●シンポジウム『マンガの未来～海外でもっとマンガを読んでもらうために～』
日本の“マンガ”をより多くの海外の読者に読んでもらうにはどうすればいいのか？ 出来るだけ多く、出来るだけ早く、正規の流通で作品を掲載していくためには何が必要なのか？ 今回のシンポジウムでは、出版社を代表して翻訳社、集英社から海外マンガ出版・配信の現状、配信事業者を代表してメディアドゥから海外配信の現状を紹介しつつ、出版社側から、そして配信事業者側から、海外マンガ出版・配信のこれから話してもらおう。

パネラー：
・ 茨木 政彦（株式会社集英社 取締役）、
・ 古川 公平（株式会社講談社 取締役）、
・ 清口 敦（株式会社メディアドゥ 取締役）。

モデレーター：島野 浩二（株式会社双葉社 取締役）。

●取材及びイベントに関するお問い合わせ、
メール：info@mangapolo.jp、
電話：03-6216-8316(平日 10:00～17:00)、
デジタルコミック協議会（事務局電通内担当 渡井、阿部）。

口述記者プロフィール、

茨木 政彦 いばらき まさひこ（株式会社集英社 取締役）
1982 年集英社に入社、「週刊少年ジャンプ編集局」に配属、マンガ編集者として数々の作家・作品を手掛ける。「週刊少年ジャンプ」編集長を経て、「ジャンプスクエア」の創刊編集長を務める。第 9 編集部長、ライツ事業部長などを歴任。2013 年 6 月、取締役就任。現在は、ライツ事業部、デジタル事業部、新書編集部、学芸編集部を統括している。

古川 公平 ふるか こうへい（株式会社講談社 取締役）
1980 年講談社に入社、週刊少年マガジン編集局を改切りに流通編集者として数々の作品を手掛ける。2002 年から 2004 年まで「月刊アフタヌーン」、2004 年から 2010 年まで「週刊モーニング」の編集長を務める。編集長在任時に連載スタートした作品には『宇宙兄弟』（山崎聖輔著）、『聖☆おにいさん』（中村光著）等がある。2011 年取締役就任。現在は国内ライツ事業、広告事業、国際事業を統括している。

清口 敦 みさぐち あつし（株式会社メディアドゥ 取締役）
1974 年 7 月生まれ。道産出身。株式会社メディアドゥ 取締役 事業開発本部長。
2009 年からドコモにて「i-mode」等のモバイルにおけるコンテンツ配信およびサービス開発を行う。
2008 年にメディアドゥへ参画し、電子書籍配信を中心としたコンテンツ流通に携わる。
また、近年では、海外におけるコンテンツ流通のプラットフォーム形成にも専任している。

島野 浩二 しまの こうじ（株式会社双葉社 取締役）
1985 年双葉社に入社。『Weekly 漫画アクション』編集部、「コミックアクションキャラクター」編集長を経て、1989 年に『Weekly 漫画アクション』編集長。その後、企画編集部に移り、ゲーム雑誌やゲーム攻略本の編集長を務める。第 9 編集部長・局長を経て、2015 年より取締役編集局長、現在はコミック・書籍編集を担当。

以上、

The Digital Comic Association and Agency for Cultural Affairs, Government of Japan presents

MANGA TRANSLATION BATTLE vol.5

Translate Manga, Win a Trip to Japan!

About the Contest

Deadline for Entries: 11/4/2016(JST)

The world's only official Japanese manga translation contest presented by the Digital Comic Association, Managed by MANGAPOLO, with the full support of the Japan's Agency for Cultural Affairs.

Contest Outline

Apply → **Initial screening** → **Final Review** → **Winner decided**

①Apply: Select one of the three featured manga to translate. Translate the manga from Japanese to English, and submit your entry. There's no fee for entry.

②Initial screening: All entries will be reviewed by professional translators to select the finalists.

③Final Review: The judging committee will review the finalists and choose the winning entries. The finalists' translations will also be posted on the Manga Translation Battle website.

④Winner decided: First Prize winners for each work will be selected some time between January to early February 2017. All winning translators may receive job offers to translate the manga series from their entries, plus the opportunity to debut as a professional translator, and various other wonderful prizes! A single Grand Prize winner will be selected to receive all of the above, plus an invitation to attend the award ceremony in Tokyo, with a free plane ticket!

https://myanimelist.net/manga_translation_battle_vol5

Choose a Manga!

ZUTTO DOKUSHIN DE IRU TSUMORI?

Maru Okazaki
Based on the story by Mami Amamiya

ZUTTO DOKUSHIN DE IRU TSUMORI?
© Maru Okazaki/SHOENSHA PUBLISHING CO., LTD.

Haruwa Akebano Tsukime Nau Sorame Nao

Machio Same

Haruwa Akebano Tsukime Nau Sorame Nao
© Machio Same 2012 Original published in Japan in 2012
by CHOCORA PUBLISHING CO., LTD.

The Right Way to Make Jump!

Takeshi Sakurai

JUMP NO TADASHI TSUKU KATA!
© 2014 by Takeshi Sakurai/SHUEI-CHA.

For further information please contact: info@mangapolo.jp

Powered by MyAnimeList.

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

「Manga Translation Battle vol.5」
授賞式・シンポジウム開催!!!

The Digital Comic Association
and Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan presents

MANGA
TRANSLATION
BATTLE
vol.5

シンポジウムテーマ

「マンガの未来～海外でもっと“マンガ”を読んでもらうために～」

マンガ翻訳の優秀者をプロの翻訳家を始めとするオフィシャル審査員による最終審査で決定するマンガ翻訳コンテスト、「Manga Translation Battle vol.5」。マンガ翻訳家志望者の活躍の場を増やし、世界のより広い層に質の高い日本のマンガ文化を発信するプラットフォームとなることを目指して、今回で5回目の開催となります。今回の大賞受賞者を迎える授賞式と、出版関係者及び配信プラットフォーム関係者によるシンポジウムでは、各社の取り組みの事例を紹介しつつ、マンガがより広く海外で読まれるためにはどうすればよいか、登壇者の方々に語って頂きます。ご多忙中とは存じますが、ぜひともお越しいただけますようお願い申し上げます。

Manga Translation Battle vol.5 翻訳コンテスト授賞式・シンポジウム

日時

2017年2月16日(木)
18:00～20:30 (開場17:30)

[主催] 文化庁、デジタルコミック協議会

[コンテスト運営協力]

場所

秋葉原UDX シアター

MANGAPOLO (株式会社 電通)

MyAnimeList (株式会社ディー・エヌ・エー)

[イベント詳細及び参加事前申し込み] https://myanimelist.net/manga_translation_battle_vol5

※本コンテストは平成28年度文化庁メディア芸術連携促進事業における連携共同事業として採択されています。
メディア芸術関連の情報発信サイト(メディア芸術カレントコンテンツ): <http://mediag.jp>

翻訳コンテスト公式ページ:

https://myanimelist.net/manga_translation_battle_vol5

プログラム (敬称略)

■ 翻訳コンテスト授賞式

司会 新井里美 (声優/ナレーター)

プレゼンター Debora Aoki (マンガジャーナリスト)

Matt Alt (マンガ翻訳者/株式会社アルトジャパン)

William Flanagan (マンガ翻訳者/編集者)

木村智子 (マンガ翻訳者/フェロー・アカデミー講師)

■ シンポジウム「マンガの未来～海外でもっと“マンガ”を読んでもらうために～」

日本の“マンガ”をより多くの海外の読者に読んでもらうにはどうすればいいのか？ 出来るだけ多く、出来るだけ早く、正規の流通で作品を掲載していくためには何が必要なのか？ 今回のシンポジウムでは、出版社側を代表して講談社、集英社から海外マンガ出版・配信の現況、配信事業者側を代表してメディアドゥから海外配信の現況を紹介しつつ、出版社側から、そして配信事業者側から、海外マンガ出版・配信のこれからを語ってもらう。 ※日・英 同時通訳有り

登壇者プロフィール

パネラー

茨木 政彦 いばらき まさひこ (株式会社集英社 取締役)

1982年集英社に入社。「週刊少年ジャンプ編集部」に配属、漫画編集者として数々の作家・作品を手掛ける。「週刊少年ジャンプ」編集長を経て、「ジャンプスクエア」の創刊編集長を務める。第3編集部部長、ライツ事業部部長などを歴任。2013年8月、取締役就任。現在は、ライツ事業部、デジタル事業部、新書編集部、学芸編集部を統括している。

古川 公平 ふるかわ こうへい (株式会社講談社 取締役)

1980年講談社に入社。週刊少年マガジン編集部を皮切りに漫画編集者として数々の作品を手掛ける。2002年から2004年まで「月刊アフタヌーン」、2004年から2010年まで「週刊モーニング」の編集長を務める。編集長在任時に連載スタートした作品には「宇宙兄弟」(小山宙哉著)、「聖☆おにいさん」(中村光著)等がある。2011年取締役就任。現在は国内ライツ事業、広告事業、国際事業を統括している。

溝口 敦 みぞぐち あつし (株式会社メディアドゥ 取締役)

1974年7月生まれ 滋賀県出身。株式会社メディアドゥ 取締役 事業開発本部長。2000年からドコモにて i-mode 等のモバイルにおけるコンテンツ開拓およびサービス開発を行う。2008年にメディアドゥへ参画し、電子書籍配信を中心としたコンテンツ流通に携わる。また、近年では、海外におけるコンテンツ流通のプラットフォーム形成にも着手している。

モデレーター

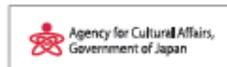
島野 浩二 しまの こうじ (株式会社双葉社 取締役)

1985年双葉社に入社。「Weekly 漫画アクション」編集部・「コミックアクションキャラクター」編集部を経て、1989年に「Weekly 漫画アクション」編集長。その後、企画編集部に移り、ゲーム雑誌やゲーム攻略本の編集長を務める。第3編集部部長・局次長を経て、2015年より取締役編集局長。現在はコミック・書籍編集を担当。

【取材及びイベントに関するお問い合わせ】

メール : info@mangapolo.jp 電話 : 03-6216-8313(平日 10:00~17:00)

デジタルコミック協議会(事務局 : 電通内 担当 : 浅井、阿部)



6.4 広報

学生賞のプロモーション協力のフェロー・アカデミーからメールマガジンを複数回配信

[1] 【インタビュー】漫画翻訳家 木村智子さん<後編>

セリフに込められた感情だけでなく、漫画に描かれたすべてをあますことなく英訳にのせる

前号に続き、漫画翻訳家 木村智子さんのインタビュー後編をお届けします。
すでに単行本が刊行されている作品や、まだ雑誌で連載中の作品、また雑誌の発売当日に英語版も電子書籍で「サイマル配信」する作品など、作品によってどのような苦勞があるのでしょうか。

- 伏線のセリフは、訳し方によってはネタバレになるので注意が必要！
- 連載中の作品は読者気分のワクワク感はなく、ドキドキでいっぱい
- 一つひとつのセリフを、字面では表現できない理由とは？
- 木村智子さんが審査員！ Manga Translation Battle Vol.5とは？

▼インタビュー記事はこちら▼

→ <http://www.fellow-academy.com/fellow/pages/ramaga/backnumber/375.jsp?tm379>

[8] フェローがサポーターを務める！ 「Manga Translation Battle vol.5」開催
今回から学生賞が新設され、より参加しやすくなりました。

文化庁メディア芸術連携促進事業として、プロのマンガ翻訳家の登壇とされる本コンテスト。第5回となる今回はフェローがサポーターを務め、コンテストを盛り上げます。今回からはフェローで講師を務める木村智子先生が審査員に加わり、学生賞が新設されました。みなさん、奮ってご応募ください。

▼詳細はこちら▼

<http://www.fellow-academy.com/fellow/pages/pr/20160926.jsp>

第7章 成果

7.1 まとめ

■各賞受賞者決定

- ・大賞：Eleanor Summers 氏（『春はあけぼの 月もなう 空もなお』）
- ・作品賞：Emma Schumacker 氏（『ずっと独身でいるつもり？』）
Emily Taylor 氏（『ジャンプの正しい作り方！』）
- ・学生賞：Emma Schumacker 氏（『ずっと独身でいるつもり？』）

■「授賞式・シンポジウム」来場者数：97人

（以下、内訳）

- ・関係者 63人
- ・事前申込み：7人
- ・当日受付（名刺など）：27人
- ・取材：6社

※スタッフや登壇者等を除く

■アンケート回収数：16枚 ※代表的な内容を「7.3」に記載。

■掲載メディア

※確認中。

7.2 アンケート集計

| 参加者属性① 性別 | | |
|-----------|-----|-------|
| 女性 | 6人 | 37.5% |
| 男性 | 10人 | 62.5% |

| 参加者属性② 年齢 | | |
|-----------|-----|-------|
| 20代 | 6人 | 37.5% |
| 30代 | 5人 | 31.3% |
| 40代 | 2人 | 12.5% |
| 50代 | 2人 | 12.5% |
| 未記入 | 1人 | 6.3% |
| 参加者属性③ 職業 | | |
| 会社員 | 12人 | 75.0% |

| | | |
|-----------|----|-------|
| 公務員 | 0人 | 0.0% |
| 学生 | 1人 | 6.3% |
| 主婦 | 0人 | 0.0% |
| フリーランス | 2人 | 12.5% |
| 大学生 | 0人 | 0.0% |
| 高校生 | 0人 | 0.0% |
| アルバイト・パート | 0人 | 0.0% |
| その他 | 1人 | 6.3% |

| 参加者属性④ 住まい | | |
|------------|-----|-----|
| 東京 | 12人 | 75% |
| 神奈川 | 2人 | 13% |
| 埼玉 | 2人 | 13% |

| シンポジウムの満足度 | | |
|------------|----|-------|
| とても満足 | 5人 | 31.3% |
| 満足 | 9人 | 56.3% |
| どちらでもない | 1人 | 6.3% |
| 不満 | 1 | 6.3% |
| とても不満 | 0 | 0.0% |

7.3 主なアンケートコメント

- ・海外配信の現状についてよくわかった
- ・出版の内輪向けの印象が強かったが、対象を広げてほしい
- ・貴重な話を聞いてとてもよかった
- ・実際のコミコンの映像など、資料や海外での配信の実績など具体的な数字が知りたかった
- ・海外の出版社をゲストに呼んでほしい
- ・パネルディスカッションが面白かった
- ・もう少しITよりの会だと思った
- ・各社のリアルな内情が知れた
- ・現場の声をもう少しきけたらと思った
- ・大手出版社だけでなく、中小の出版社の課題や悩みも聞いてみたい
- ・プロの翻訳者からの話が聞いてよかった
- ・シンポジウムでももう少し翻訳について（海外展開するためにどうやって翻訳の質を保つかなど）

言及してもらいたい

- ・今の最新の取り組みがきけてよかった
- ・マンガ紹介する V とナレーションのスピードがあってなくて残念でした
- ・登壇者の方が非常にざっくばらんに話してくれてよかった

7.4 総括

第 5 回を迎えた今回も、計 3 名の受賞者を決定し、「海外に漫画を広めていく際に、不可欠となる優れた翻訳家の発掘、育成」という、「マンガ翻訳コンテスト」の目的を果たすことが出来た。また今回は、大賞、各作品優秀賞に加え、新たに学生賞を設け、多くの学生応募者の中から受賞者が誕生した。例年に比べ応募者が増え、その中でも学生応募者が多かったことは、若い翻訳家志望者が広範に存在する証拠でもあり、当コンテストにとっても継続して実施してきた価値を実感するものである。とはいえ受賞者はまだ未熟な部分も多い。今後は、受賞者が、対象作品の版元とともに、対象作品の翻訳を成し、海外において翻訳版の配信を行うべく、また、受賞者がマンガ翻訳者として成長、成功するよう、デジタルコミック協議会内で引き続き可能なサポートを行ってゆかねばならない。

コンテストの対象 3 作品は、レディースコミック、文学的要素、コメディ、と、バラエティに富んだラインナップとなり、応募者にとっても英語で内容を表現するのが難しいものとなった。しかし、それでも 250 名を超える応募があり、中でも新たに設けられた学生賞の対象者が 100 名にも及ぶなど、5 回目を数えるコンテストでも過去最大の規模となった。

応募要件をノンプロフェッショナルとするなどした結果、荒削りの翻訳も見られたが、翻訳家志望者の裾野が広がったように思える。大賞受賞者含め、3 名の受賞者の今後の活躍が期待されると共に、受賞者以外の応募者も今後何かしらの形で翻訳者としての道が開かれることを望む。

授賞式・シンポジウムについて。授賞式においては今回、大賞受賞者をイギリスから迎え、審査員 4 名と直接会い、語り合う時間が持てた。審査員からは、応募作品を例に取り、翻訳のポイントについてのプレゼンをして頂き、会場参加者にとってもいい機会が持てた。引き続いて行われたシンポジウムでは、講談社、集英社から出版社としての立場から、メディアドゥから配信事業社の立場から、海外でマンガを広めていくためにはどうしたらいいのか、本音も交えたディスカッションをしてもらい、会場参加者の反応もよく、非常に実りのあるものとなった。例年のことだが、告知から開催までの期間が短かったことなどもあり、一般参加者が少なかったのは、告知方法含め、今後の課題だと思われる。

「マンガ翻訳コンテスト」は今回で第 5 回を迎えたが、デジタルコミック協議会参加社の中でも、

対象作品を出した出版社はまだ限られている。一方で、海外で受け入れられる可能性のある作品は数多くある。より多くの出版社にとって、「マンガ翻訳コンテスト」を活用していってもらうように努力をしなければならない。と同時に、「マンガ翻訳コンテスト」だけでできることには限界もある。今後は海外で受け入れられる可能性のある作品をいかにより多く表に出していくか、国内外の出版社、配信プラットフォーム等が密に接し、「マンガ翻訳コンテスト」をさらに実りの多いものとしていかなければならない。

本報告書は、文化庁の委託業務として、京都精華大学が実施した平成 28 年度「メディア芸術連携促進事業 連携共同事業」の成果をとりまとめたものであり、第三者による著作物が含まれています。転載複製等に関する問い合わせは、文化庁にご連絡ください。